

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

生体肝移植後リンパ増殖性疾患の全国調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科

【研究責任者】 高田泰次（肝胆膵。乳腺外科 教授）

【研究代表者】 北川 雄光（教授）慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科（共同研究代表者）

### 【研究の目的】

過去に受診された肝胆膵。乳腺外科で肝移植手術を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、日本における生体肝移植後の移植後リンパ増殖性疾患（Post-Transplant Lymphoproliferative Disorder, PTLD）の実態を解析する多施設共同研究を行うことといたしました。この研究は日本における生体肝移植後の PTLD の実態を解析することで診断・治療水準を向上させることを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つと考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2001年9月から2015年12月に愛媛大学医学部附属病院で肝移植手術を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報）

臨床病理学的因子：移植年月日、レシピエント年齢・性別・身長・体重・血液型・EBV status、原疾患、ドナー年齢・性別・血液型・続柄、グラフト肝重量、拒絶の有無および治療内容、PTLD発症日、症状、診断方法、診断時免疫抑制剤の投与量、LDH、アルブミン、Performance Status、PTLD病変の局在、サイズ、胸水・腹水の有無、組織型、ステージ、EBER-ISH、ドナー年齢・性別・血液型・

続柄・EBV status

PTLD 治療：初期治療内容、診断確定後の治療内容（免疫抑制剤の投与量、化学療法レジメン、Rituximab 投与の有無・投与量、手術、放射線照射の詳細）

予後：治療による合併症、治療効果、全生存期間、無増悪生存期間

**【共同研究について】**

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。あなたのデータ/試料は、匿名化されて、慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科に送られます。あなたの情報を含む多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵。乳腺外科 藤山泰二

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327